

会期中のイベント

●クロストーク「日本画の現在とこれから」

井手康人(出品作家)、倉島重友氏(日本美術院同人)による対談を行います。

日時:10月18日[日] 午後1時30分～(約60分)

会場:講堂 定員:114名(要企画展入場券(半券可)、要事前申込)

●美術教育シンポジウム「美術は苦手?」

子供のころお絵描きが大好きだったのに、いつの間にか美術が苦手になってしまった経験はありませんか?多くの人が経験するこの不思議さの背景を美術教育の専門家が語り合います。

日時:11月1日[日] 午後1時30分～(約120分)

登壇者:井手康人(出品作家)、藤原智也(愛知県立大学准教授)、

金子一夫氏(茨城大学名誉教授)、神野真吾氏(千葉大学大学院教授)

会場:講堂 定員:110名(要企画展入場券(半券可)、要事前申込)

※一般財団法人 日本芸術教育財団との共催事業

●作家によるギャラリートーク

日時:9月12日[土] 午後1時10分～、10月18日[日] 午前11時～、11月1日[日] 午前11時～(各日約40分)

会場:企画展示室 ※要企画展当日入場券、申込不要

●展覧会担当によるギャラリートーク

日時:9月26日[土]、10月4日[日] 各日午後1時10分～(約40分)

会場:企画展示室 ※要企画展当日入場券、申込不要

●来て・見て・発見!アートツアー for kids

日時:10月10日[土] 午前10時～午前12時

会場:企画展示室、講座室

定員:小中学生と保護者5組(1組4名まで、事前申込
先着順、保護者のみ要企画展当日入場券)

●北茨城市立大津小学校

日本画体験出前授業成果展示

井手氏による出前授業で5年生が日本画の画材を用いて制作した作品を展示します。

会期:9月12日[土]～11月15日[日]

会場:展望ギャラリー1(観覧無料)



出前授業の様子 2026年6月18日

■岡倉天心記念室のご案内

テーマ展示「下村観山《雨の芭蕉》について」会期:開催中～10月18日[日]

特集展示「岡倉天心と安田靫彦 ―靫彦旧蔵資料を中心に―」会期:10月20日[火]～2027年1月11日[月・祝]

安田靫彦(1884-1978)は天心の薫陶を受け、近代日本画史にその名を残した歴史画の大家です。本展では、初公開をふくむ靫彦旧蔵品によって天心の生涯を辿るほか、天心顕彰に尽力した靫彦の功績にスポットを当てます。

○障壁画ツアー

日時:10月24日[土] 午前10時～11時

会場:岡倉天心記念室(定員:先着30名、
要常設展当日入場券、申込不要)

○ギャラリートーク「岡倉天心と安田靫彦」

日時:10月24日[土] 午前11時～

会場:岡倉天心記念室(要常設展当日入場券、申込不要)

【イベント申込方法】当館ホームページにて内容の詳細をご確認の上お申込みください。

※本展の展示作品、展示会期、関連イベントの期日・内容等については、変更する場合があります。最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。

■つくば美術館土曜講座

「井手康人の絵画世界ーパリと日本」

講師:永宮勤士(本展担当学芸員)

日時:9月19日[土] 午後1時30分～(約90分)

会場:茨城県つくば美術館 2階アルスホール(TEL:029-856-3711) ※詳しくは同館ホームページをご覧ください。

ごいっしょに

・「観月会2026 川島史也展ーPresenceー」

会期:11月1日[日]～11月29日[日]

会場:国立大学法人茨城大学五浦美術文化研究所

問合せ:茨城大学 社会連携部 基金・同窓会課(TEL.029-228-8425)

・「中西夏之 緩やかにみつめるためにいつまでも付む、装置」

11月12日[木]～2027年1月17日[日]

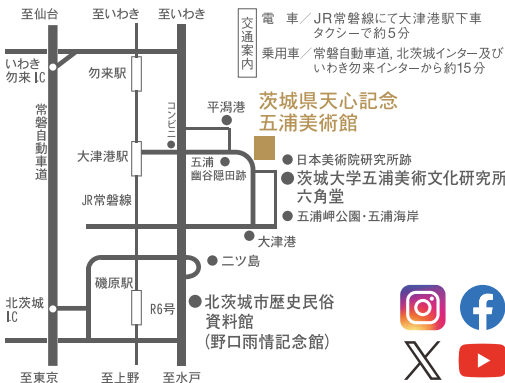
茨城県近代美術館 TEL.029-243-5111

当館次回企画展のご案内

「日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かぐいひろしの世界展」

11月23日[月・祝]～2027年1月17日[日]

【美術館共通年間パスポートのご案内】茨城県立の美術館(近代美術館、天心記念五浦美術館、陶芸美術館)が主催するすべての展覧会で何回でもご利用いただける共通年間パスポート(一般3,550円/高校生2,370円/小中生1,180円、購入日から1年間有効)を各美術館にて販売中。



茨城県天心記念五浦美術館
TENSIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI
TEL.0293-46-5311



○トワイライトコンサート

出演:藤枝麻里花(フルート)、佐伯日菜子(ピアノ)

日時:10月3日[土] 午後5時～(約60分)

会場:エントランスロビー

定員:200名程度(要企画展入場券(半券可)、当日先着順)

○映画会

・9月13日[日]

「第三の男」1949年/100分/モノクロ/イギリス

・10月11日[日]

「ダイアナ」2013年/113分/カラー/イギリス

・11月8日[日]

「HAZAN」2003年/108分/カラー/日本

上映時刻:各日 午前9時45分～、午後1時30分～

会場:講堂(定員:114名、無料、当日先着順)

井手康人展

— 共鳴する祈り —

IDE Yasuto:Resonating Prayers

2026 9.12[土] ▶ 11.15[日]

11月13日(金)は茨城県民の日のため全ての方の入場料が無料

開館時間:午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで) 休館日:毎週月曜日(ただし、9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)は開館。9月24日(木)、10月13日(火)は休館)
入場料:一般 950(820)円/満70歳以上 470(410)円/高校生 710(590)円/小中生 360(240)円

※()内は20名以上の団体料金 ※土曜日は高校生以下無料 ※9月15日(火)～21日(月・祝)は満70歳以上の方は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療受給者証等をご持参の方および付き添いの方1名は無料

主催:天心記念五浦美術館 井手康人展地域連携実行委員会 後援:朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、産経新聞社水戸支局、東京新聞つくば支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、LuckyFM茨城放送

茨城県天心記念五浦美術館
TENSIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI
〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083 Tel.0293-46-5311 Fax.0293-46-5711

井手康人展 ―共鳴する祈り―

IDE Yasuto・Resonating Prayers

井手康人(1962- 北九州市出身)は、バリ島の伝統文化や宗教をモチーフに日本的感性を加えた幻想的で独自の世界観による絵画で頭角を現し、現在は日本美術院同人として活躍する日本画家です。東京藝術大学の平山郁夫研究室で日本画を学び、1990年に再興第75回院展初入選を果たします。1994年にインドネシアのバリ島を訪れて同地の文化や宗教に魅了されて以降は、長年にわたって現地での取材を続け、鮮やかな色彩で女性や動植物を装飾的に描く作風を確立します。その後は再興院展で受賞を重ね、2006年には第12回天心記念茨城賞を受賞、2014年には同人に推挙され、現在では再興院展のみならず、日本画界の発展を担う作家の一人として精力的に作品発表を続けています。

本展では、再興院展で発表された数々の受賞作や大作を中心に、近年取り組んでいる富士山のシリーズを加えた最近作まで28点を一堂に展示します。また、長年のライフワークである教育普及活動にも着目し、北茨城市内の小学校で開催した出前授業の成果を展示するほか、美術教育の関連イベントも開催します。井手康人の画業に日本画制作と教育普及という二つの側面から迫る本展は、作家にとって過去最大規模の個展となります。

神々の シリーズ The Gods Series

井手は日本美術院同人となって以降、バリの神話に登場する神々を描いた連作に取り組みました。

バリ・ヒンドゥー教の3大神や山、海、月、日にまつわる神々などを描いた幅約4mの大作を展示します。



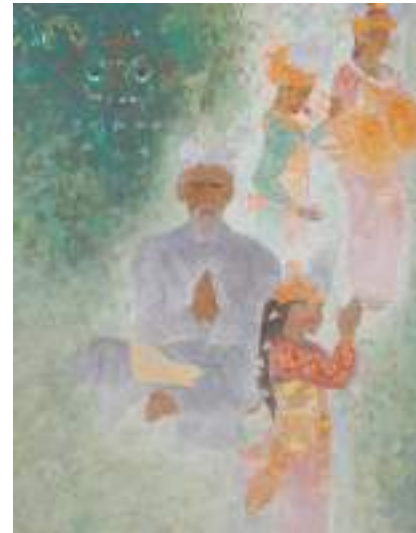
《月乃神》2024年 個人蔵

バリ島 Bali



《神々の泉で》1996年 上野の森美術館蔵

インドネシア・バリ島の風土や文化は井手の創作にとって重要なインスピレーションの源となりました。バリの踊り子を中心に、神秘的なその風習や風土を多層的に表現した初期の代表作を展示します。



《精霊の森》2002年 個人蔵



《奏園》2006年 茨城県近代美術館蔵



《百花為誰開》2013年 足立美術館蔵

富士 Fuji

2021年以降新たに取り組んだ主題が日本の象徴でもある富士山です。

シリーズの出発点となる作品から最近作までをまとめて紹介する初めての機会になります。



《不二》2022年 個人蔵



《海乃神》2022年 足立美術館蔵



《山乃神》2021年 足立美術館蔵